

【環境生活部長賞】

共に生きる

登米市立米山中学校

三年 服部 愛

地球上をめぐる水は、人々にとって身近な存在です。私達は、生活のほか、農業、工業など多くの場面で利用しています。その一方で、時には洪水や水不足の被害に見舞われることもあります。

水の恵みを利用し、災害を防ぐために昔から現在まで、人々は水の力を利用し、支えられるまで、さまざまな努力をしてきたと思います。私達は水に支えられ、水はめぐってくれる、自然の力、共に生きていると感じる毎日です。

あなたにとって、水はどんなものですか？日本人は、きれいな水、おいしい水が身近な存在でめぐまれていると思います。あたり前のように使っている水は、世界中の人で水不足など、水を使えない環境で育って貧しい生活で困っている人もいます。

私達は、水を大切に使う、無駄使いをしないと、自分の水の使い方を考えるのもいいと思います。水は生命の源で、水の安全性に感謝していきます。

町のいたる所で目にするのができる水は、生活していくためには、かせないものです。水は、衣食住の全ての生活に必要です。衣は洗濯、食は、料理、住は、農業と幅広く使っています。私は、水を無駄にしないように生活しています。例えば、植物に水をあげる時、雨水をため、ためたものを使っています。自然の水も効率良く使い、雨水を無駄なく活用していきます。

世界中の人が水を使うのにも限りがあり、水は無限ではありません。私達の生活に水が届くまで、いろんな作業があります。安全な水が私達に届

くと、皆が笑顔になります。私が初めて水を見た時、さわった時、「すいい」

と、思ったと思います。水は、透明できれい、おいしい。さらさらしていて水のすごさが伝わってきます。人間、動物、植物が水に支えられて生きていられています。

ですが、世界中の人が日本の水を使っているわけでもありません。日本の水を世界中の人に使ってもらうため、知ってもらうためにも、私達日本人が、世界中の人の命を救うためにできることはやっていきたいと思えます。

日本の水を世界中へ届けるためには、どのようなことができるでしょうか？

私が見たテレビ番組では、一人の日本人が水不足の方に水を届けました。その瞬間、笑顔になったのです。一人の日本人のおかげもあり、水を感じるほど、水を必要としている人も多くいるということが分かりました。水不足で命に関わることや、苦しんでいる人を減らしていくために、水を多くの人に届けたいと思いました。多くの人に水を届けるためにも、この日本人のような行動をとることを大事だと感じ、私は水の大切さを強く感じるようになりました。

今できることは、水を大切に使うことだと思います。限りある水をどのように使うかで世界中の人の生活も変わることがあるかもしれません。時には、水によって被害が起こることもあります。困難になっても、水への感謝の気持ちを持って生活していきます。

一人一人が水を正しく使うことを意識し、これからの生活でも、大切に使っていきます。水と関わっている日々は、恵まれています。私達日本人は、水と共に生きて生活していきます。